

2017/3/3

(日々雑感 40) 結末大幅修正版



ぼくのお孫ちゃんがおひな様の日なのであまり物騒なことは言いたくはないのですが・・・

犯罪加害者になるかもしれないと予測される側の人権は、かくも「手厚く」守られているのに対して、犯罪被害者になるかもしれないと予測される側の人権は、無残にも「捨て置かれて」いるような「感じ」がしました。何かあって然るべき公正平等の中心線ないしは中心の軸がずれているような「感じ」とでも言いますか。

自分が後者の身の上になったからかもしれません。ある意味、中立を欠いていることもあるかもしれませんが、まさに「実感」です。

事件化した後なら、後者、つまり被害者は手厚く守られるのですが、事件化する前は全く逆のようにみえます。

昨日別件でお話させて頂いた地元自治会長さんに、自分のこの感想を述べると、会長さんご自身も同じ感想をお持ちになっておられるのが感じられました。会長さんは日々、地域の安全と防犯に心を砕かれています。

確かに、人権上の問題はあります。

疑わしいからと言って、そう無闇矢鱈と「予想被疑者」を「予防拘束」していたのでは、警察権力の乱用に繋がり、市民の人権が守られない可能性があることは容易に想像がつかます。

疑わしきは罰せず。予防拘束を控える。家族間争議及びそこから派生する案件については民事不介入の原則に従う、と言うことも理解できます。

しかし、全て警察のアドバイスに従って行動したのに、結果40日も家に帰れない状態が一向に解消されないの、再び警察に次のアドバイスを得ようとして相談に訪れると「これはうちの課の案件ではない」と別の係にまわされ、回された方は「あなた一体何の相談に来たんですか?」といい、前の課の話の説明すると、壁の向こうですったもんだ。で、やおら出てきた係官が、うってかわって今度は丁寧な態度。

しかし、口をついて出た言葉は「第三者を無断で引き入れたとしても、そのような家族争

議に類することを警察に相談されても困るので、ご足労ですが弁護士か行政書士のところへ行ってください」と。

「はい？」—（ならば、40日前に何でそう言わなかったの？と内心の声）

とまあ、こんな具合です。おかげさまで昨日は28000歩16キロ行脚の運動が出来ました。

それで歩きながら、つらつら思ったんですが、これを警察がサラリーマン化しているとか、逮捕権を持ったお役人様に過ぎないなどといっても所詮負け犬の遠吠えかごまめの歯ぎしりでしかない。

で、どう考えたかという、経済原則を当てはめてみたのです。

つまり、費用対効果の原則です。経営の原則。費用最小にして効果最大を求むる、の原則。

その原則で言えば、予防拘束には、リスクと手間とコストがかかりすぎるのです。

警官の立場になって考えてみれば直ぐに分かります。

タダでさえ犯罪（事件化されたもの）が増えている。巧妙化している。日々それを追うので精一杯。そこにもってきて、その何倍あるいは十何倍もある「事件化しそうなもの」までなんてみられる訳がない。こっちだって人間だ。ゴッドハンドを持っているわけでもないし、超人ハルクでもない。気力体力にも限界がある。

一方上司は、人件費予算として、予防捜査のために大幅な人件費（人員増と残業代増）アップをその上に計上する訳にもいかないし、マスコミからは警察権力の増強の非難も受けかねない。「警察国家の再来」などと言うキャプションすら目に浮かぶ。予見逮捕、えん罪の温床等など耳をふさぎたくなる言葉も浮かぶ。

というのが現場と上司の本音かも。

他方、犯罪予想被害者の方に「少し静かにしててもらおう」か法治国家の中の別の組織である「裁判所マター」に話を振る分についてはあまりコストも手間もリスクもかからない。

費用対効果の原則に照らして答えは明らか。

それが、自分のような犯罪予想被害者からは、警察の動きは、犯罪予想加害者に「手厚い」ように見えるのだろう

という見立てになりました。

理屈や仕組みはおおよそ分かったのですが、さてもさてきて、困りました。

犯罪予想生起確率は日増しに高まっているのに、それが第三者にも良からぬ結果を及ぼすであろう事も想像もつくのに、それを未だに止められない状態。

しかし、妙なことは出来ません。犯罪を押しやるためにこちらが犯罪もどきのことをしたのでは、何をやっているのか分からなくなります。

但し、認識だけは改めた方が良いでしょう。というのは、先にもお話ししましたように、警察と謂えども、彼らとて経済原則に則って動いている、あるいは動かざるを得ないので

あれば、もうそれをやいのやいの言っても時間の無駄ですし、甲斐もありません。相手の立場にたってみれば、「そんな話、迷惑だぜ」でしか無いのかもしれないし。

だとすれば、これはもう「自衛」するしかないことになります。警察は、事件後ならいざ知らず、事件前の段階では「あれば多少便利なオマケ」くらいに思いなした方が、最初に述べた「ずれているように思われた」中心線や中心の軸を本来のセンター位置に戻すことになって良いのかもしれないと思った次第です。